

「創造」 黒木中だより 第14号

令和4年3月24日



八女市立黒木中学校
八女市黒木町北木屋60
☎ 0943-42-0109
編集責任者 山口 繁喜

桜舞う季節となりました。八重桜、しだれ桜、山桜、一般的にはソメイヨシノですね。桜がつく言葉と言えば、桜前線、桜開花予想、桜並木、千本桜、桜吹雪、秋桜、桜貝、桜海老、桜鯛、桜ん坊、桜餅など。曲のタイトルにも多く使われていて、「さくらさくら」「桜」「さくら」「sakura」「Sakura」「SAKURA」などあります。また、地名や人名にも多く見られます。日本人と桜は昔から結びつきが強く、美や風流につながる素敵なイメージがありますね。

太鼓演奏発表会

3月3日に学習室1組の太鼓演奏発表会が行われました。進行、開閉会の言葉、曲紹介など、生徒たちが分担して発表会を運営しました。演奏では、見事なバチさばきで観客の先生の心にリズムカルな太鼓の音を響かせていました。アンコールにも動揺せず、2回目の演奏もしっかりとした音を創りだしていました。限られた音楽の時間を大切にされた姿がうかがえました。最後に交流学級の先生に贈り物をして会を締めくくりました。



3年生の愛校作業

3月9日に卒業式を前にして、愛校作業として、教室・廊下や窓を中心に掃除を行いました。「立つ鳥跡を濁さず(たつとりあとをにごさず)」ということわざのとおり、心を込めて丁寧に取り組んでいました。



職業人講話

3月10日この講話のゲストティーチャーとして、農家の さん、美容師の さん、理学療法士の さんに来ていただきました。仕事の内容やその職業に就くために必要なこと、仕事の大変さや喜びなどを話していただきました。そして、中学校の学習を大事に取り組むこと、将来を考えることの大切さを語っていただきました。



卒業式

3月11日に第52回卒業証書授与式を挙行了しました。卒業生の言葉は さん、 さんが代表を務めました。「ぶかぶかの制服」の一年生。二年生での「行



き先が変更になった修学旅行」。最上級生としての「行事を通して、生まれた大きな感動」。「励ましてくれた三年間一緒に過ごしてきた仲間」への感謝。在校生への「伝統というバトン渡し」。最後に「一番の理解者だった家族」への感謝を伝えました。そして、卒業の歌「手紙～拝啓 十五の君へ～」を合唱し、美しいハーモニーを会場に響き渡らせました。式後の学活では一人一人の思いを聴き合いました。卒業おめでとうございます。



クラスマッチ

3月15日に1年生、22日に2年生でクラス対抗ドッジボールを行いました。上手にボールをかわす姿がとても印象的で、学年最後を締めくくる盛り上がりでした。



修学旅行

3月13日～15日で鹿児島県へ行ってきました。1日目は、知覧特攻平和会館で当時の特攻隊の人たちのことを聴き、「戦争は繰り返してはならない。」と平和の大切さを噛み締めました。2日目は鹿児島市内の散策をしました。班ごとにあらかじめ決めていたコースをたどり、メルヘン館、水族館、仙巖園、天文館などを巡りました。3日目はフェリーで桜島に渡りました。めったに乗らないフェリーと海のコントラストに感動していました。桜島では吹き上がる噴煙やゴツゴツした溶岩を間近で見、地球のエネルギーの巨大さを肌で感じる事ができました。



☆ 保護者の皆さまへ ☆

本日は、修了式でした。式辞の中で、「備えあれば憂いなし」の話をしています。エネルギーあふれる姿で始業式が迎えられよう、春休みは次年度に向けて、しっかりとした準備をお願いしました。一年間の頑張りや成長が集約された修了証を見て、家族で1年の振り返りをしてみてください。

今年もコロナ禍の1年でしたが、ご協力とご支援ありがとうございました。4月から引き続き、よろしくお願いします。